

かりの光昭

みつ あき 活動レポート No.17

現住所 〒970-8017 いわき市石森二丁目2の11
連絡先/かりの光昭 連絡事務所 〒973-8402 いわき市内郷御殿町4丁目2
TEL: 0246-27-8700 FAX: 0246-27-0448 携帯: 090-7564-3253
E-mail karino@karino-m.jp ホームページ http://karino-m.jp
フェイスブック https://www.facebook.com/mitsuaki.karino

スピード
誠
実
行



お気軽にご相談下さい

プロフィール

- 1952年北茨城市磯原町に生まれる
- 磯原高校・立正大学文学部・福島大学経済学部・福島大学行政社会学部卒業・福島大学大学院経済学研究科修士課程修了

側溝堆積物の撤去を可決（8月臨時会）

8月5日、いわき市議会臨時会が開催されました。

平成28年度一般会計補正予算のなかで、生活環境の改善等に向けた「震災復興・側溝堆積物撤去モデル事業費」が提案され、可決されました。

これまで側溝堆積物は、春・秋の市民総ぐるみ運動で撤去していましたが、原発事故以降は放射性物質の影響で撤去を控えていました。

私も、多くの市民から降雨時における市道冠水の発生や排水不良による悪臭・害虫の発生などの相談を受け、いわき市に早期の撤去を要望してきました。

私の質疑内容といわき市の答弁の概要について報告します。



汚でいにより悪臭を発する側溝

(1) モデル事業の概要と効果について

(狩野) モデル事業の概要について伺います。

(答弁) 小名浜地区における、市民総ぐるみ運動で側溝堆積物の撤去を実施していた箇所や、市民から寄せられた排水不良箇所等を対象に撤去対象側溝延長約78km、側溝堆積物撤去量約2,410mm³を見込んでいます。

撤去された堆積物の処分は、1kg当たり2,000ベクレル未満のものは、市内の産業廃棄物最終処分場で埋立処分を想定。2,000ベクレル以上8,000ベクレル以下のものは、放射性物質を分離できる熔融施設によるリサイクルを目指すなど可能性の調査を行い、8,000ベクレルを超えるものは、国が運営する管理型処分場での埋立処分を想定しています。

(狩野) 県内他市にさきがけて、震災復興・側溝堆積物撤去モデル事業を実施する理由について伺います。

(答弁) 市民総ぐるみ運動による側溝堆積物の撤去を控えてから、既に5年以上経過した現在、市民の苦情が多く寄せられている現状があり、国へ機会あるごとに財政措置を講ずる等を要望するも、明確に示されなかったことから、1日も早い生活環境改善と真の復興の実現を図るため、市独自でモデル事業を先行実施することとしたものです。

裏面に続く

(狩野) 小名浜地区を実施対象にした理由について伺います。

(答弁) 平成23年9月に実施された文部科学省の航空機モニタリングの結果、小名浜地区のほとんどが除染実施対象外とされていること、また、いわき市道路側溝相談受付センターなどに市民から寄せられた排水不良や悪臭等の発生の受付件数が多い地区の1つであることから、モデル地区として選定しました。



(狩野) モデル事業の事業費内訳について伺います。

(答弁) 機械施工と人力施工の併用による撤去作業に3億3,389万2,000円、大型土のうへの積み込み作業のための整地や管理に関する費用として1億3,194万3,000円、産業廃棄物最終処分場への運搬や埋立処分費用として1億180万8,000円で、合計5億7,264万3,000円となっています。

(狩野) どのような発注方法を考えているのか伺います。

(答弁) 小名浜地区の状況に精通している地元業者を中心に業務委託による発注方法を基本として、検討する考えです。

(狩野) モデル事業の効果について伺います。

(答弁) 市民が震災前の安全で快適な生活環境を1日も早く取り戻せることを目指して、検証を行うものです。



(2) 今後の取り組みについて

(狩野) 小名浜地区以外での今後の取り組みについて伺います。

(答弁) モデル事業における課題の検証を踏まえ、除染が完了した、久之浜・大久地区を除く、平・勿来・常磐・内郷・四倉・遠野・小川・好間・三和・田人・川前の11地区を次年度以降、順次実施する予定です。

狩野感想

いわき市は国に対して再三の要望をしているにもかかわらず、側溝堆積物撤去の財政負担を明確に示していません。国の「福島復興を最優先に」は掛け声だけとしか思えてなりません。

原発事故の被害はまだまだ続きます。「原発はいらぬ」が私の率直な考えです。

